

大洲市観光まちづくり戦略ビジョンの概要

2020年4月 大洲市観光まちづくり戦略会議

1 戦略ビジョンについて

(1) 目的

将来目指すべき方向性を多様な関係者が共有し、一貫性、一体性のある観光まちづくりを推進していこうとするもの。

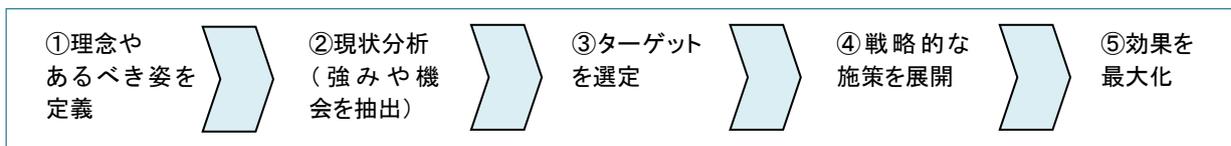
(2) 多様な関係者

地域住民をはじめ、行政、DMO、民間事業者、関係団体・機関など多様な関係者で戦略ビジョンを共有していくことが理想。

(3) 戦略ビジョンの構成

戦略ビジョンは、多様な関係者が共有するため、シンプルで分かりやすい構成が重要。

■構成



2 理念・あるべき姿

(1) 理念

ー地域の文化を未来へとつなぐー

歴史、文化、自然、風土など本市の地域固有の資源を保全し、かつ民間事業者との協働により新たな価値を創造し、また価値を高め、地域資源を徹底して観光まちづくりに生かすことで、地域に産業を根付かせ、地域経済の発展に寄与していく。

(2) あるべき姿

多様な関係者が互いに連携し、理念に基づいた戦略ビジョンを実行していくことで「住む人も訪れる人も、働く人も心が豊かになる地域づくり」をめざす。

3 現状分析 (SWOT分析)

SWOT分析により、機会を生かして強みを伸ばし、弱みや脅威を克服、回避する戦略をとる。

	好影響	悪影響
内部環境	強み (Strengths) 「自地域で積極的に活用できる強みは何か？」 ・ 肱川がつくる自然美、体験 ・ 数寄屋の名建築 臥龍山荘 ・ 城下町に残る歴史的な町並みや大洲城 ・ 瀬戸内の海の幸、大洲盆地の野菜 ・ 周辺エリアに残る暮らしや風景 など	弱み (Weaknesses) 「自地域で改善を必要とする弱みは何か？」 ・ 観光まちづくり組織の弱さ ・ 観光まちづくり専門人材の不足 ・ インバウンド、観光客向けの宿泊施設不足 ・ 地域の民間投資の弱さ ・ 周辺市町との連携不足
外部環境	機会 (Opportunity) 「自地域にとって追い風となる要素は何か？」 ・ 安定政権、好景気、観光立国の推進 ・ インバウンドの地方部への増加 ・ 2021 オリンピックの延期、2025 大阪万博 ・ 民間事業者の観光産業への投資熱の上昇 ・ せとうちDMOの誕生 など	脅威 (Threat) 「自地域にとって逆風となる要素は何か？」 ・ 国際情勢 (東アジア) ・ 災害の発生 (地震・豪雨) ・ 町並みを形成する町家の取り壊し等 ・ 人口減少及びこれに伴う税収等の歳入減 ・ 感染症等の疫病の世界的流行 など

4 ターゲットの選定、マーケティング・プロモーション

- 狙う市場はインバウンド市場
- 第1ターゲットは、欧米豪の旅慣れた知的旅行者
- 第2ターゲットは、香港、台湾の旅慣れた知的旅行者
- 第3ターゲットは、第1ターゲットに感化された日本人旅行者
- インバウンド市場のマーケティングは、せとうちDMOと連携（2019年7月連携協定）
- 地域マーケティングは、マーケティング計画に基づき実施
- プロモーションは、ブランディング・プロモーション戦略に基づき実施

5 主要事業（戦略プログラム）

（1）地域DMOの形成・確立

- ・一般社団法人キタ・マネジメントの形成・確立
- ・観光関連施設指定管理者の連携及び統合
- ・市観光協会との役割分担の調整
- ・集客交流拠点施設（まちの駅あさもや、大洲駅観光案内所）の機能充実

（2）旧城下町エリアの町並み保全と活用

- ・町家・古民家等の歴史的資源の活用（「町家活用エリア実施計画」に基づき実施）
- ・旧松井家住宅、旧加藤家住宅の整備・活用
- ・大洲城キャッスルステイの実施
- ・城下のMACHIBITOの継続実施（おおず浪漫祭と統合し、継続実施）
- ・おおず歴史華回廊の継続実施

（3）周辺エリア（長浜・肱川・河辺など）への波及

- ・長浜・肱川・河辺など周辺エリアでのコンテンツ開発
- ・内子町との地域連携（「内子・大洲周辺エリアプロダクト開発基本計画」に基づき実施）
- ・せとうちDMOとの広域連携

6 スケジュール（5年）

主要事業（戦略プログラム）のスケジュール

（赤色線=実施及び実施が決定しているもの）

1年目 2019年度	2年目 2020年度	3年目 2021年度	4年目 2022年度	5年目 2023年度	以降 2024年度～
<ul style="list-style-type: none"> ・戦略ビジョン 詳細検討（毎年度実施） ・あさもや、JR案内所、赤煉瓦館DMO指定管理 ・大洲城、臥龍山荘DMO指定管理 ・町家の整備（5か年） ・松井家住宅整備 ・加藤家住宅整備 ・DMO指定管理（検討） ・大洲城キャッスルステイ実証実験 2020年4月以降～稼働 ・城下のMACHIBITO（最終回） ・おおず浪漫祭と統合し、継続実施 ・おおず歴史華回廊（2020年4月以降 DMOで展開） ・内子・大洲エリア観光プロジェクト（最長5年） 周辺エリアのコンテンツ開発 ・せとうちDMOとの連携協定（インバウンド市場へのプロモーション等） 					